

鷹取山自然観察会会報

2025. 6. 8

No. 48

鷹取山の植物相調査 —2024年調査—

鷹取山は三浦半島北部に位置しており、神武寺から繋がる自然豊かな場所として、神奈川県生物多様性ホットスポットに選定された場所です。また、2020年

を月1回定期的に歩き、植物の種名を記録する「トランセクト法」で行っています。この方法は、「高い精度で調査を行うことよりも、同じ精度で継続的に植物相を記録すること」を第一に優先しています。

当会では毎月第2金曜日に調査を行っていて、モニ1000調査マニュアルでは、木本及びシダ類、イネ科、カヤツリグサ科は除いてもよいとなっていますが、当会は維管束植物の全てについて調査しています。

記載方法は、原則として種ごとに蕾、花、実の状態をチェックし、種が不明なものについては標本を採取し、同定・確認しました。各月の参加人数は7月を除き4人～12人が参加しました。

2. 調査範囲及び区間別の特徴

鷹取山周辺は鷹取山公園を中心として尾根沿いに緑地が広がっています。西側には沼間～神武寺まで広大な緑地となっています。この地域の全てを調査することは困難であることから、神武寺に至る逗子側を除き、横須賀市側について植生の違う場所を行っています。調査区間は調査ルート3.5kmとして、植生の違う6区間に区分しています。



区間ごとに特徴をみてみると、A区間は石切り場の跡地としての鷹取山公園を中心とした場所で、高木としてコナラ、クヌギ、ムクノキ、ケヤキ、オオシマザクラ、ミズキ、イヌシデ、カラスザンショウなどの落葉広葉樹とスダジイ、タブノキ、ウラジロガシ等の常緑広葉樹も混在しています。中低木としてヤマグワ、タマアジサイ、



に一般社団法人関東地域づくり協会と公益財団法人日本生態系協会が主催する「関東・水と緑のネットワーク」に応募し、鷹取山公園及び鷹取山自然観察会が選定され、さらに2022年に「神奈川の美しい広葉樹林50選」に選定されています。

鷹取山自然観察会は2013年11月から会員有志で植物相調査を開始し、2016年2月に環境省自然環境局生物多様センターが主催するモニタリングサイト1000里地調査(モニ1000里地調査)の一般サイトに登録しました。

これまでの植物相調査の結果については毎年会報6月号に報告しています。今回は、2024年1月～12月までの結果を報告します。

1. 調査方法

植物相調査はモニ1000里地調査マニュアルにより行いました。モニ1000里地調査は、定められたルート

調査日	1/12	2/9	3/8	4/12	5/10	6/14
人数	12	10	6	10	9	9
調査日	7/17	8/9	9/13	10/11	11/8	12/13
人数	1	4	9	7	12	7

シバヤナギ、キハギ、ヤマツツジ、ハコネウツギ、ヒメウツギ、マルバウツギ、コゴメウツギなども多くみられます。また、至る所でアオキの繁茂がみられ、草本類では展望台付近にセンボンヤリ、岩場にはケイワタバコの群落が見られます。ケイワタバコは横須賀市内では貴重な種です。公園内には草地の広場があり、不定期ですが草刈りが行われています。この草地は、イネ植物、キク科、マメ科植物が生育していて、ブタクサ、セイタカアワダチソウ、アレチヌスビトハギ、メリケンカルカヤ、メマツヨイグサなど帰化植物が侵入し増えています。

B区間は湘南鷹取住宅と子供の遊び場としての公園です。住宅地は路傍雑草などが中心でアブラナ科、アカバナ科、キク科、イネ科などの外来種も多く確認されています。また、鷹取小学校の石垣にはトラノオシダ、イヌ

カタヒバなどのシダ類、ホタルブクロ、コモチマンネングサ、コバナツツナミ、シンテッポウユリ、ペラペラヨメナなどが年間を通じて見られます。

C区間はアカガシ、スタジイ、ウラジロガシなどの常緑広葉樹が多く、コナラ、イヌシデの落葉樹も混在しています。シイ、カシの森は冬でも暗く、林内は下草が少ない場所もあります。この区間にはクロモジ、ヤマコウバシ、ハナイカダ、ムラサキシキブなどの中低木もみられます。草本類ではキッコウハグマ、ツルカノコソウ、ヤマネコノメソウなど、この区間でしか見られないものも数多い。2017年に東電の鉄塔工事があり、工事区間で樹木の伐採が行われ、伐採後にカラスザンショウの実生が多く生育しています。

写真1 調査区間の特徴



A区間（鷹取山公園）



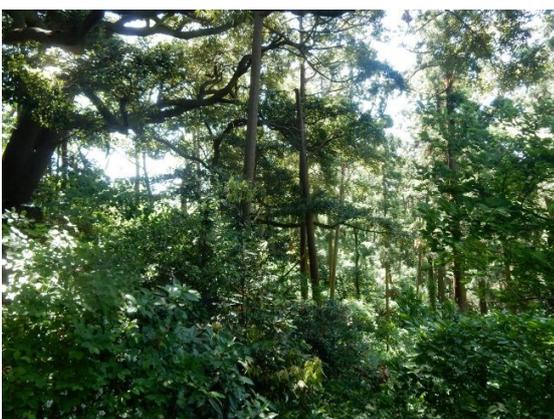
B区間（住宅地、公園）



C区間（シイ、カシ常緑樹林）



D区間（落葉樹林）



E区間（スギ林縁部）



F区間（畑地）

D区間ではクヌギ、コナラ、オオシマザクラ、ニガキ、イタヤカエデ、エノキ、マルバアオダモ、エゴノキなどの落葉広葉樹が多く、アラカシ、アカガシ、ウラジロガシ、タブノキなど常緑樹も混在している。草本類は豊かで、ツクバトリカブト、ホタルカズラ、ヤマハッカ、ヤクシソウなど在来の植物相が残っている区間です。

E区間は逗子沼間の保安林及び自然環境保全地域に指定された林縁であり、林内には、スギ、ヒノキ、シロダモ等の常緑樹や、中低木としてムラサキシキブ、カマツカ、ガマズミ、マユミ、アオキ、ヤツデ、なども普通に見られます。

F区間は畑地がある場所で、畑地沿いには、ニラ、ノビル、ヒメウズ、ヒガンバナ、オオジシバリ、ツルボ、カントウヨメナなど草地や土手に生える草本類が多く見られます。

3. 調査結果

調査開始の2013年～2024年までに確認した種は表1のとおりであり、716種であった。木本64科213種、草本62科445種、シダ植物16科58種でした。この中には以前あったが、現在は見られない種も多くあります。詳細は添付のとおりです。

表1 区間別の調査結果

区分	A	B	C	D	E	F	合計
草本	310	267	264	178	149	184	445
木本	140	85	124	108	89	86	213
シダ類	36	24	29	32	14	22	58
合計	486	376	417	318	252	292	716

(1).新たに見つかった種

観察を続けていると新たに見つかる種があり、楽しみです。草本ではネズミガヤ、園芸種のシラン、ヤブカンゾウなど。木本ではモッコクなどが新たに見つかっています。これらの中には以前から生育していたもので、見逃しがあったものもあります。



(2).帰化植物

調査区間の自然度を見るため草本類について帰化植物と在来種の分布割合を調べました。帰化植物とは、外国原産の植物で、牧草用や鑑賞用として輸入されたものが野生化して各地に広まっていった植物です。一方、日本に古来から生育している種は在来種といわれています。一般的に都市化されてくると帰化植物が入り込み在来種の生息域を狭めてくることが知られています。また、逸出種という栽培種が野生に入り込むものがあり、逸出種も帰化植物に入れました。逸出種にはオシロイバナ、ヒルザキツキミソウ、オオアラセイトウ、ノシラン、ヒメツルソバ、ハナニラなど園芸種などから野生化したものも多く見られます。

帰化植物・逸出種の区分は横須賀市自然・人文博物館編「三浦半島の野生植物」により確認しました。

表2 区間別の帰化植物

区間	帰化率(%)
A	27.7
B	34.1
C	23.5
D	8.4
E	9.4
F	22.3
全区間	29.0

区間別の帰化植物の割合は表2のとおりであり、区間全域の帰化率は29.0%であった。ちなみに神奈川県植物誌2018によれば、神奈川県全域で32.0%となっていて、帰化率は年々増加傾向にあります。

区間別に特徴を見ると、A区間は鷹取山公園内であり、人の出入りも多く、開けた草地があるため、ブタクサ、セイタカアワダチソウ、アレチヌスビトハギ、メリケンカルカヤ、メマツヨイグサなどイネ科、キク科、マメ科等の帰化植物が増加しています。また、人によって持ち込まれた園芸種も増加傾向にあります。

B区間は住宅地の道沿いと公園・広場などであり、帰化率が高くなっています。一方、D・E区間は在来種の割合が高く、帰化率は低くなっています。

4.その他

調査開始から10年を経過し、植物相の変化も見られます。調査を続けることで、絶滅していく種やこの地域で新たに見つかる種もあります。調査することは楽しみでもあり、この地域の植物相がはつきりしてくると思います。これからも継続して調査を続けていきますが、無理をせず、会員を増やしていきたいと思えます。今後もご支援お願いいたします。

2024年の調査に参加した人(敬称略・順不同)

本多久男、金子龍次、中村紀雄、村上良二、星野節子、菅沼桂子、北村一男、大澤美恵子、伊沢昭司、弦間幸子、大塚千賀子、樋口智子、高橋和子

2025年度の事業計画

会員の方々には、事前に昨年度の会計報告と今年度の事業計画案、予算案など事前に資料送付し、了解していただきました。

今年度の事業計画は昨年度とほぼ同様で、事業計画は下記のとおりです。2024年5月現在の会員数は26名です。

今年度の事業計画は、2024年度とほぼ同様となっています。ただし、自然観察会は7月8月は猛暑のため中止します。

生き物調査の記録集計は、植物相は本多、蝶類は本多、鳥類は北村さんをお願いします。セミの抜け殻調査は今年度は中止します。また、鳥類調査の繁殖期調査の調査開始時間は9時30分に変更します。

会報は4回発行予定です。会員の方から投稿お待ちしております。植物、動物など写真と簡単なコメントでも結構です。

鷹取山公園にリーフレットをチラシケースに配架していますが、竹之下さんと友人の内田さんをお願いしています。今年度もよろしくをお願いします。

よこすか環境教育指導者等派遣事業等への依頼があれば、小学校、町内会に対して観察会を行います。

自然観察の里山づくりでは、樹木板、巣箱の架け替えは前年同様です。

毎年、不定期ですが月1回程で植樹場所などの環境整備を行っていますが、今年度も行う予定です。植樹、草刈りなど予定しますので興味のある方は参加ください。

鷹取山ではいくつか課題があり、横須賀市に対しても要望しています。

一つは水道タンクから磨崖仏へ上る階段は木製で老朽化して痛みがひどく、雨が降ると滑りやすく、丸杭形



のコンクリート製に改修できないか要望しています。

二つ目は尾根道沿いの観察路ではコナラの立ち枯れもあり、倒木や枝が落ちたりと危険な場合もあるので注意が必要です。

三つ目は貴重植物の盗掘で対策が必要です。特にラン科植物の盗掘は深刻でこの場所での絶滅する種も見られます。また、過度な草刈による貴重種の減少もみられます。貴重植物の保護柵や看板の設置もしているところですが、効果も限定的です。



自然観察会、調査・広報活動

1. 自然観察会の開催

(1) 定期的な自然観察会の観察会の開催

実施時期 毎月原則として第2日曜日 雨天の場合は翌週に延期

今年は猛暑のため7、8月は中止する。

2. 植物相調査など生き物調査

環境省のモニタリングサイト1000里地調査により植物相及び蝶、鳥類について調査 また、会独自にセミの抜け殻調査などを行う。

(1) 植物相調査 第2金曜日

(2) 蝶類調査 4月～11月の間 第1、3金曜日

(3) 野鳥調査 越冬期:12月～3月の間 第1、3金曜日に1往復

繁殖期:5月23日金曜、6月3日火曜、27日金曜に1往復

(4) セミの抜け殻調査 今年度は中止

3. 会報の発行などによる広報

(1) 会報 年4回(6月、9月、12月、3月)発行し、会員、横須賀市博物館、県博物館、横須賀市・逗子市・神奈川県自然環境関係機関、横須賀市自然環境活動団体交流会、鷹取山安全登山協議会などに送付

(2) ホームページの更新 随時更新

4. 「鷹取山の自然を大切に」のリーフレットの配布

(1) 公園内に「鷹取山のマナー」の看板を設置した他、「鷹取山の自然を大切に」のリーフレットの配布するほか、公園内に配架する。

5.よこすか環境教室(環境教育指導者等派遣事業)等への協力

よこすか環境教室に「環境教育指導者」として団体登録している。市内の小中学校などから自然観察の依頼があれば対応する。

6.他団体との情報交換

(1) 横須賀市自然環境団体交流会

自然観察の里山づくり

1. 樹木板の設置

鷹取山公園を中心に2013年から樹木板を設置している。昨年木を傷めないようPPロープからスプリングに変更し、樹木板の掛け替えを行う。
実施時期 4月25日金曜日

2. 巣箱の掛け替え

平成25年から野鳥の保護と野鳥観察を目的として巣箱掛けを行ってきた。現在約10個の巣箱が掛かっており、その掛け替え作業をする。

実施時期 11月21日金曜日

3. 掲示板

鷹取山公園に市が設置した掲示板を活用し、季節の花だより、山で見られる蝶、野鳥、ドングリなどポスターを作成して掲示する。 毎月更新

4. 鷹取山公園の自然保護

鷹取山公園を管理している横須賀市と平成29(2017)年度「鷹取山公園等を自然観察の里山づくりの利用について」として協定を結び次の活動をする。

(1) 貴重種の保護を目的とした看板、柵の設置

(2) 貴重植物の保全活動

(3) 植樹及び維持管理

植樹した場所にコナラ、クヌギの補植を行う。

これらの活動全てについて、会則に則り実施いたしますが、強制ではありません。興味関心のあるイベントにご参加ください。

樹木板の設置

私たちの調査では、鷹取山周辺で約210種の樹木を確認しています。ここではコナラ、クヌギ、イヌシデ、イタヤカエデ、オオシマザクラなど落葉広葉樹やタブノキ、シロダモ、スダジイ、アカガシ、ウラジロガシ、アラカシなどの常緑広葉樹、カマツカ、ウツギ、イボタノキ、ムラサキシキブ、ガマズミ、イヌビワなどの中低木が混在して里山を形成しています。

当会では、多様な樹木について、散歩で歩かれる方やハイカーの方にも関心を持ってもらうため2013年から樹木板を設置しています。

今年は会員有志で4月25日に樹木板を設置しました。当初はシュロ縄や、プラスチックロープなどで木に取り付けていましたが、木に食い込んだりして木を傷めることもあり、2023年からスプリングにより取り

付けています。

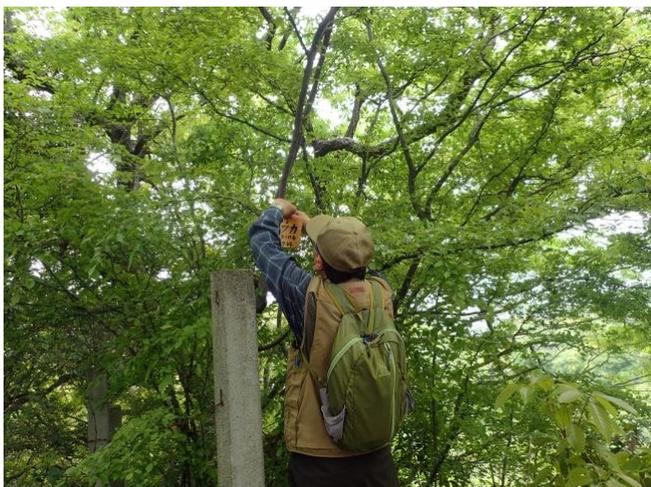
当日は桜並木～展望台周辺の傷んだ樹木板を交換してきました。樹木板には写真のように樹木名と簡単な特徴が書いてあります。崖地や坂道などもあり苦労しましたが、2時間余り作業を行いました。

また、低木については写真下のようにラミネートフィルムの樹木板も設置しています。

多くの方に樹木の名前や、花の咲く時期が分かって良かったなどご意見を頂いています。樹木板の設置に参加された方はご苦労様でした。

参加した人(敬称略・順不同)

本多、中村、北村、大澤、星野、弦間



生き物調査などで撮った写真 3月～5月



4.18 シロバナハンショウツル



4.18 アミガサタケ



4.18 オオバウマノスズクサ



4.18 ムベの花



5.4 アマドコロ



5.4 ウンモンズズメ



3.21 ヤマガラ



4.18 メギの花



5.9 ベニシジミ



3.21 カワラヒワ



3.21 イソヒヨドリ



5.9 ニガナ



5.9 ノアザミ



5.9 オミケルミ



4.18 春蘭の花



3.14 ヤマネコノメソウ

モニ1000調査の感謝状

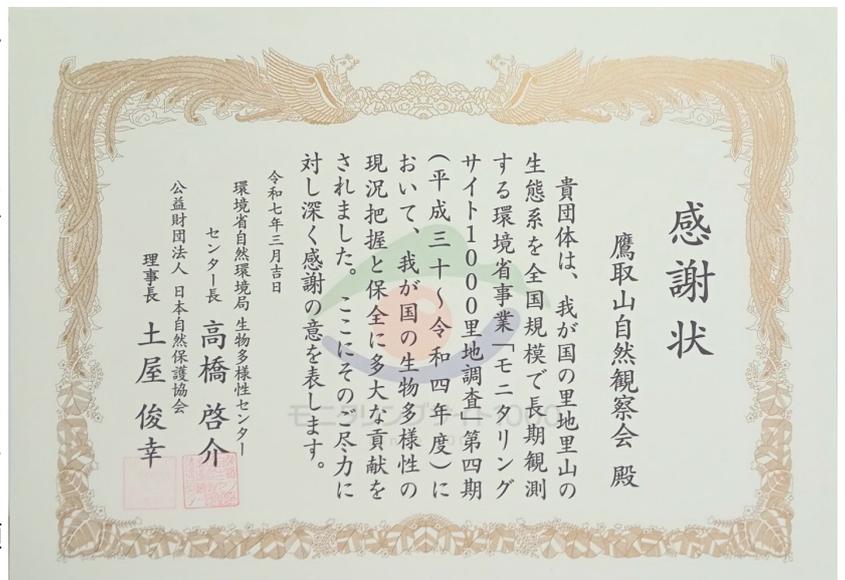
当会では2016年に第3期の途中からモニタリングサイト1000里地調査登録しています。現在は植物相、蝶類、鳥類について会員の有志で調査を続けています。

2025年3月、環境省及び日本自然保護協会から感謝状をいただきました。今回の感謝状は、日々の地道な活動が評価されたことを意味し、大変光栄に思っております。

モニ1000調査に参加された方に対し、この場を借りて、心より感謝いたします。

これからも鷹取山の自然の変遷を調査していきたいと思っております。続けていくためには、新たな会員の確保も重要です。

会員の募集をしていますので、よろしく願いします。



ノアザミを育てる

ノアザミは、キク科アザミ属の多年草で、日本固有種です。鷹取山でも見ることができます。アザミは秋の花ですがノアザミは5月頃に咲くのでハルアザミの別名もあります。タイアザミなどは花の下にある総苞片が針のようですがノアザミの総苞片はねばねばするのが特徴です。また、ノアザミの花は、花径3~4cmの赤紫色、花径の先に上向きに咲きます。



2025.3.1 撮影



2025.5.12 撮影

ノアザミの種からノアザミを育ててみました。12月頃に種まきすると、3月頃には芽吹きます。ポットに植え替えたものは5月頃にはノアザミらしい葉が出てきます。来年には開花すると思います。楽しみです。



コラム

自然セラピー効果

NHK Eテレ『おとな時間研究所』では、「心も体も喜ぶ！自然セラピー」と題して、自然がもたらすリラックス効果が紹介されました。(5月16日放映)

だれでも、森林や公園などで自然に触れると落ち着き、癒やされると感じたことがあると思いますが、千葉大学自然セラピー研究室では、「自然が人の脳や身体にもたらす生理的リラックス効果」を研究しています。

森や木々の多い公園の間をゆっくり歩いたりすることで、心が落ち着いたり、体の免疫機能が上がるのですが、科学的にも解明されてきたようです。

例えば森を15分間歩いた場合、コルチゾールというストレスホルモンの濃度が13.8% 低下することがわかりました。また、副交感神経の活動は72.0%亢進し、リラックス効果が顕著に高まるという結果が得られています。また、血圧の高い人は低下し、低い人は上昇するという「生体調整効果」が認められたそうです。

以前から森林浴の健康効果は言われてきましたが、新しく自然セラピーの研究が進んでいて、五感を通じた自然観察や植物相調査などはストレスの軽減、血圧の抑制などにも効果があるようです。我々も健康維持のために、もう少し頑張ってみようという気分になります。

俳句

小島常義さんが自然観察会に参加した折に作った句を紹介しています。



クマノミズキ



ヤブジラミ



クルマバッタ

六月のテーマ

「初夏に咲く花を観察しよう」

青空へ熊野水木の花掲ぐ

かか

七月のテーマ

「蝶とその食草を探してみよう」

藪虱の花や悪さはこれからさ

やぶじらみ

八月のテーマ

「セミやバッタを観察してみよう」

飛蝗飛ぶ扇のごとき羽模様

ばった



定例自然観察会の予定

7月	猛暑のため中止	—
8月	猛暑のため中止	—
9月14日(日)	「鷹取山の秋の七草は何でしょう」	京急田浦駅

モニタリング1000里地調査等の予定

植物相調査	7月11日(金)	集合場所、時間 鷹取山公園東屋 10時集合	蝶類調査	7月4日(金)、18日(金)	集合場所、時間 鷹取山公園東屋 10時集合
	8月8日(金)			8月1日(金)、15日(金)	
	9月12日(金)			9月5日(金)、19日(金)	

自然観察会の延期は翌週日曜日です。モニ1000調査の雨天延期の場合は日曜日、更に水曜日となります。

自然観察会の報告

3月9日(日)	早春の野草を探してみよう	会員5人、非会員10人 計15人
4月14日(日)	雨天のため中止	—
5月11日(日)	新緑の樹木ウォッチング	会員7人、非会員14人 計21人

モニタリング1000里地調査の報告

植物相調査	3月14日(金)	晴14℃	参加8人		
	4月11日(金)	曇17℃	参加9人		
	5月9日(金)	曇り22.6℃	参加8人		
蝶類調査	4月4日(金)	曇10℃	参加6人	4種5頭	
	4月18日(金)	快晴20℃	参加7人	8種25頭	
	5月4日(金)	晴24℃	参加6人	15種87頭	
	5月16日(金)	快晴26℃	参加6人	17種74頭	
鳥類調査	3月7日(日)	快晴12℃	参加6人	11種48羽	
	3月21日(金)	快晴10℃	参加7人	16種81羽	
	5月23日(金)	曇り20℃	参加7人	11種56羽	

当会では不定期ですが、会員有志で階段の整備、植樹場所の手入れ、貴重植物の保護のため保護柵の整備など行っています。主旨賛同される方は、参加ください。

鷹取山自然観察会(ホームページを見て下さい)

HP:鷹取山自然観察会

<http://takatoriyama.eco.coocan.jp/>

連絡先:世話人代表:本多久男 e-mail:takatori_0721@nifty.com